

ビューワーを持って現場に出よう！ 集めた情報をもっと活用しませんか。

「現場」で「現物」を見ながら「現実」を把握する。
「原理」「原則」情報も併せて見る。
外部情報、AI連携で属人の「限界突破」
新6ゲン主義のビューワーを持って現場に出よう。



1 IOTデータを現場で活用する

- 管理者が現場でデータを見ながら指示をするため適格な指示ができます。
- 出来高、品質の推移もその場で見れるので予測した指示ができます。
- リアルタイムな指示で現場改善のスピードアップが図れます。

2 フレキシブルな情報ソース

以下の規定のフォーマットを用意しました。
出来高、棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ、稼働分析
カスタマイズもご要望にお応えします。



3 フレキシブルな情報ソース

XML形式でのデータ交換により、多様な情報ソースを扱えます。



4 カメレオンコードで設備認識

離れたところからでもタブレットのカメラで認識することができるカメレオンコードを扱います。

※カメレオンコードは
㈱シフト社の製品です。
別途ライセンス購入が必要です。

